

## 肺炎球菌予防接種について理解しましょう

肺炎は日本人の死因第3位であり、特に高齢者においては命に関わるケースもある疾患です。日常生活で感染する肺炎の原因菌は、肺炎球菌がもっとも多いとされており、肺炎球菌ワクチンを接種することは肺炎の予防に非常に効果的と言えます。

肺炎球菌予防接種はニューモバックスとプレベナーの2種類があります。

### ●ニューモバックスとプレベナーの違い

肺炎球菌は莢膜（きょうまく）と呼ばれる細菌本体を守る役割の膜を持っており、この莢膜の性質により90種類以上の肺炎球菌が存在しています。

このうち病気の元になるものが30種類程度、**ニューモバックスはこのうち23種類の肺炎球菌に対して予防効果、プレベナーは13種類の肺炎球菌に対しての予防効果**をもっています。ニューモバックスとプレベナーはその対象となる肺炎球菌の種類が異なり、プレベナー13にはニューモバックスには含まれていない6A型という近年感染が増えてきている型を含んでいます。

ニューモバックスは、人に接種すると肺炎球菌に対する抗体が体の中で作られ、予防効果が期待できます。一方、プレベナーは人に接種すると記憶免疫と呼ばれる免疫を得ることができ、強力な予防効果が期待できます。

注射は、**ニューモバックス：筋肉内または皮下注射、プレベナー13：筋肉内注射**です。

### ●ニューモバックスとプレベナーは両方注射したほうが良いのでしょうか？

2014年9月よりニューモバックスとプレベナーの併用が推奨されています。

併用方法は

- ①プレベナーを先に接種し、6～12ヶ月の間隔を空けてからニューモバックスを接種
  - ②ニューモバックス予防接種既往歴のある方は接種後から1年以上あけてプレベナーを接種
- ニューモバックスとプレベナーを併用することで予防効果が高まります。

メリットとして、両方のワクチンに共通している血清型の抗体の効果が高まることが認められています。ただし、日本では高齢者に関して、助成制度のあるニューモバックスの定期接種制度（5年ごと）を利用することを日本呼吸器学会と日本感染症学会の合同委員会は推奨しています。**助成制度があるのはニューモバックスのみです。プレベナーは対象外となります。**

### ●安中市での助成制度について

ニューモバックス予防接種に対して助成を行っていますが、助成については今後変更がある可能性があります。2019年4月からの助成については再度ご確認ください。

今年度の対象は、

- ①その年に**65、70、75、80、85、90、100歳**の年齢になる方
- ②接種時点で**60歳以上65歳未満でも心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはひと免疫ウイルスにより免疫機能に障害のある方** ⇨自己負担2000円（市の補助は6500円）
- ③安中市在住で**65歳以上かつ定期予防接種の対象から外れる人、ただし過去にこの予防接種を受けたことのある方で市からの補助は受けておらず、接種から5年以上経過している方**で医師が必要と認めた方 ⇨自己負担4560円（市の補助3000円）

**助成が受けられるのは、生涯一度のみ**です。

当院ではプレベナーは自費で11900円です。

ご予約は随時受けつけております。

ご希望、ご相談はスタッフにお伝えください。



休診のお知らせ

**年末・年始休診日**  
**2018年12月29日(土)から**  
**2019年1月3日(木)まで**  
 休診とさせていただきます。  
**1月4日(金)からは通常診療**となります。

高齢者施設の入所者に対する23価肺炎球菌ワクチンの効果～肺炎球菌性肺炎とすべての肺炎の発症予防効果～



